

# 「百間川河口水門増築事業」が**全建賞を受賞しました。** 岡山河川事務所

平成13年に事業着手し14年の歳月をかけ平成27年3月に完成した「百間川河口水門増築事業」が、平成26年度全建賞を受賞し、平成27年6月26日にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北）にて授賞式が行われました。

本水門はライジングセクターゲートで、径間長・ゲート重量は日本最大であり、門数も最多の3門を有しています。受賞理由としては「軟弱な地盤や湧水の排除など施工条件が厳しい中で工事を実施し、流下能力不足となっている百間川河口での治水安全度向上に大きく寄与している。周辺景観に配慮した意匠、素材などを採用するとともに、排水管や電線管等の添加物も表面に出さない構造とするなどしている点も評価された。」とのことです。

全建賞は、(一社)全日本建設技術協会が、日本の建設技術の発展に寄与することを目的に昭和28年に設立。以降、毎年優れた建設事業等を実施した機関に授与し、平成26年度表彰で62回目となる歴史と伝統ある賞です。建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を選考し、これを実施した機関を表彰するものです。

平成26年度は、国、都道府県、市町村、機構・公社等の機関より、329事業(うち東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠28事業)の応募があり、審査の結果、77事業(うち東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠17事業)が、全建賞として選考されました。



百間川河口水門(既設+増築)平成27年2月撮影

